

東邦大学医療センター大森病院 からだのとしょしつ だより

14号 2012/12/1



【資料の紹介】 おすすめの一冊

躁うつ病はここまでわかった
一患者・家族のための双極性障害
ガイドー 第2版 加藤忠史編
日本評論社 2012 A5版 226頁

- 患者さんたちの間でも、もはや「双極性障害」と呼ばれることのほうが多くなった躁うつ病。
- この5年間で、双極性障害の治療、双極性障害に対する社会の認識が大きく動きました。
- 薬物療法の保健適応拡大、社会リズム療法など、進歩する研究の最前線を紹介フォローアップ。セカンドオピニオンも掲載しています。(I.O.)



ボランティアがプレゼンテーションしました

2012年11月27日(火)午後6時15分から、大森病院5号館1階のレストラン【ポーノ】でボランティア親睦会が催されました。

ボランティア親睦会は、大森病院で活動中のボランティアの方々の、日ごろの活動に感謝することを目的とした催しで、毎年11月下旬におこなわれています。

今年は、ボランティアコーディネート委員会の発案で各ボランティアグループによる日ごろの活動紹介の時間が設けられました。

「からだのとしょしつ」と「なのはな文庫」にも事前に依頼があったので、ボランティアと司書が協力して、活動中の写真をもとにパワーポイントを使ってプレゼンテーション資料を作り、親睦会に臨みました。

おなじ大森病院でボランティア活動をしていても、活動の種類や活動日が違えば、ボランティア相互に交流する機会はありません。今年の親睦会でおこなわれたボランティア活動紹介の催しは、ボランティアにとっては、他のグループの活動の様子を知る機会となりました。また、出席した多くの病院職員にとっても、日ごろのボランティアさんたちの活動を知ることができる良い機会となりました。(I.O.)



◆ボランティアをご希望の方は◆

東邦大学医療センター大森病院のホームページ>病院ボランティアをご覧ください。

◆なのはな文庫のご案内

- ◇毎週火曜日の午後、病棟のテイルームや外来待合エリアなどを巡回して、本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。
- ◇一人でも多くの患者さんに、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じて頂けたらと思って活動しています。
- ◇なのはな文庫の活動は、からだのとしよしつボランティア活動の一環としておこなわれています。
- ◇医学情報が欲しいときは、からだのとしよしつ、医学書でない、ふつうの本が読みたいときは、なのはな文庫をご利用ください。

◆囲碁・将棋のお相手◆

- ◇今年から、入院患者さんの囲碁・将棋のお相手をするボランティアグループが活動を開始しました。
- ◇対局を希望される患者さんは、病棟師長にお申し出ください。

◆編集・発行「からだのとしよしつ」◆

東邦大学医療センター大森病院 2号館3階
開室日時：9:30-16:30 土・日・祝祭日・年末年始はお休みです。
Web版「からだのとしよしつ」でも資料と探し方のご案内をしております。

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada>